

シュガーソルト垣乃花株式会社

黒糖シロップ小袋の量産化と 包装工程改善による製造コストの見直し

全国的にも評価の高い沖縄県産黒糖。それを100%使ったシロップの開発に成功して顧客にも評価されていたが、旧来の包装機械では歩留まりが悪く、量産のネックになっていたが、新型機械の導入で、生産効率向上と人材の有効活用が可能となった。

課題

■従来の機械は老朽化が激しく生産効率が悪かった

事業のきっかけ

当社の母体である株式会社黒糖本舗垣乃花は、沖縄県産100%にこだわった黒糖製品を製造・販売している。同社では黒糖シロップの開発に成功。それを調味料として製造・販売するため当社が設立された。水飴などの添加物を使わない黒糖シロップは需要が見込める有望な商品だ。しかし、従来当社が包装に使っていたのは中古で導入した古い機械で、スピードが遅い上に賞味期限を印字することができなかった。さらに老朽化によって液漏れを起こすことも頻繁で、そのたびに作業をやり直す必要があった。生産効率が悪くてコストがかかり、利益もほとんど出せない状態であったため、新設備の導入は必要だった。

成果

■新型機械の導入で不良品がゼロになり生産量アップ

事業の取り組み～成果

機械導入時には現行刃の形状の問題から製品化した袋からシロップの液漏れによる問題点も発生したが、刃形状を変更することで、問題を解決することができ、無事導入することができた。操作は基本的に従来と同じなので稼働はスムーズに行った。旧来の機械では不良品の割合が30%にも達していたが、新型ではゼロになった。さらに、生産量は従来1分間に20個だったものが27個に増えた。液漏れ等の監視がほとんど必要なくなったので、人員を他の仕事に戻すことができるようになり、他商品の生産量も上がっていることが確認できた。

展望

■営業活動に力が入れるようになり利益増加も

今後の展望

商品名や店舗名を入れることもできるようになり、OEMで他社商品の製造請負も可能になっている。また、古い機械では11g入りの商品しか作れなかったが、新しい機械では8gから1kgまで充填できるようになった。従来は特に1kgのバックでは容器コストも抑えられるようになった。顧客の要望に対応できる個包装が可能になっている。従来は生産量を増やせなかったため引き合いがあっても断るケースがあったが、今後はそうしたこともなくなり、売上げや利益の増加を見込んでいる。生姜黒糖などの小袋商品のバリエーションを増やしたり、営業面ではコンビニ、大手スーパー、カフェなどへの展開を強化したい。

新しい機械で製造した商品はタテ型で、賞味期限の印刷も可能となった



導入した液体製袋充填包装機とサーマルプリンタ



材料はすべて県産黒糖を使用している

Q 御社のモットーを教えてください

A 「私には黒糖しかできません、黒糖しかやりません」。沖縄の地域資源である黒糖に特化した企業経営をしていく。

代表取締役
垣花 兼一 さん

取締役企画・
営業部長
宮城ひとみ さん

つむぐ × つなぐ

今後の取り組みについてお聞かせ下さい。

垣花さんビジョン

古い機械では生産量に自信が持てなかったため、商品のPRをせず、営業もあまりしてこなかった。しかし、新型機械の導入で生産量に自信が持てるようになっている。また、ネックだった原材料の仕入も安定的にできるメドが立っているので、今後は思いきり営業活動をしていきたい。

宮城さんビジョン

シロップの売上げは順調。新型機械が入って生産量が増やせそうなので、様々な展示会に出展し新市場を開拓していきたい。どんなお客さんが来てくれるか楽しみである。従来のメーカー、スーパー、コンビニ等だけでなく、カフェなどへの売り込みも考えており、幅広い営業展開をしていきたい。

食料品製造業

✓ シュガーソルト垣乃花株式会社

〒904-2234
沖縄県うるま市字州崎 12-18
tel.098-939-9688 fax.098-921-2507



・代表者名	代表取締役 垣花 兼一	・設 立	平成20年1月
・資本金	4,200万円	・従業員数	13人

